

座間市教育委員会 7月定例会会議録

- 1 開会日時 令和元年7月24日(水) 午前9時30分
- 2 場 所 座間市役所5階5-1会議室
- 3 出席委員  
 教育長 木島 弘  
 教育長職務代理者 馬場 悠男 教育委員 鈴木 義範  
 教育委員 小井田 由美子 教育委員 天野 久美
- 4 出席職員  
 教育部長 石川 俊寛 教育総務課長 高木 力  
 学校教育課長 野澤 慎 保健給食担当課長 福田 進  
 教育指導課長 小川 雅嗣 教育研究所長 江崎 厚史  
 生涯学習課長 松崎 佳子 図書館長 石田 恵子
- 5 書 記 古川 武夫 中坪 祐貴

6 案 件

No.	議案番号	議 案 事 項 名	提案説明者	結果
1	17	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について	教育指導課長	承認
2	18	令和2年度使用中学校教科用図書の採択について	教育指導課長	承認
3	19	令和2年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	教育指導課長	承認

No.	報告番号	報 告 事 項 名	提案説明者	結果
1	18	教科書採択に係る要望、意見書について	教育指導課長	—
2	19	県費負担教職員の任用について	学校教育課長	—

教育長 ただいまより7月定例教育委員会を開会いたします。  
 お諮りいたします。ただいま、傍聴受付名簿のとおり委員会傍聴の申し出がありました。これを許可したいと思います。ご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

教育長       ご異議無いようですので、これを許可します。

(傍聴人 入室)

教育長       お諮りします。会期は今日一日でよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長       それでは、会期は7月24日今日一日といたします。

次に、教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、会議録署名委員に馬場委員と天野委員を指名いたします。

それでは教育長報告に移ります。前回の定例会からの経過報告として、いくつかの行事についてはその詳細をお伝えします。

#### <教育長報告>

教育長       6月12日(水) 定例教育委員会、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

6月12日(水) いさま会役員会、教育長、鈴木委員出席です。

6月18日(火) 中学校給食の視察があり、教育長が出席いたしました。伊勢原市から、副市長、教育長を始め7名の方が、選択式中学校給食の視察に来られ、座間中学校を会場に視察が行われました。配膳の様子や、1、2年生の昼食の様子を見ていただきました。どのクラスも、ほほえましい昼食の風景がございました。

6月19日(水) 教育事務の点検評価委員会第1回会議、教育長出席です。

6月19日(水) 寄付金受領式、教育長出席です。

6月26日(水) 定例校長会議、教育長出席です。

6月26日(水) 第3回座間市チャレンジデー実行委員会、教育長出席です。

6月27日(木) 学校訪問C(相模野小学校)、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

6月28日(金) 事後調整会議、教育長出席です。

6月30日(日) 座間市茶道連盟納涼茶会、教育長出席です。

7月1日(月) 社会を明るくする運動街頭啓発キャンペーン、教育長出席です。

7月2日(火) 教育事務の点検評価委員会第2回会議、教育長出席です。

7月3日(水) 学校訪問C(入谷小学校)、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

7月5日（金）相模が丘で七夕祭りの開会式があり、教育長が出席いたしました。今回で第7回を迎える七夕祭りは、私が相模野小学校の校長を務めていた頃に始まったものです。子ども達を書いた短冊は、一枚一枚丁寧にラミネートされ、笹に飾られていました。七夕飾りのされた「さくら百華の道」を天の川になぞらえ、子ども達の夢と希望を祈る、素晴らしい行事でした。

7月5日（金）校長研修会、教育長出席です。

7月6日（土）第14回健康サマーフェスティンざま、教育長出席です。

7月9日（火）台湾高座会青年部表敬訪問、教育長、鈴木委員出席です。

7月9日（火）青少年問題協議会、教育長出席です。

7月9日（火）学校訪問C（座間中学校）、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

7月12日（金）教科書学習会1回目、教育長、小井田委員、天野委員出席です。

7月14日（日）第17回全国おやじサミット in ZAMA 2019、教育長出席です。

7月16日（火）教科書学習会2回目、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

7月16日（火）チャレンジデーパフォーマンス大賞表彰式、教育長出席です。

7月17日（水）栗原中学校生徒表敬訪問、教育長出席です。これは陸上部の3年生女子が砲丸投げで全国大会出場、ということで表敬訪問されています。

7月17日（水）教科書学習会3回目、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

7月18日（木）教科書学習会4回目、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

7月18日（木）いさま会定期総会、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、小井田委員、天野委員出席です。

7月20日（土）相模が丘地区夏まつり開会式、教育長出席です。

以上です。ただいまの経過報告についてご意見、ご質問等ございませんか。

教育長

ご意見、ご質問等ないので、以上で経過報告を終わります。

次に、議案の審議に移ります。

議案第17号から第19号、及び報告第18号は教科書採択関係ですので、一括審議とさせていただきます。

議案第17号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」及び報告第18号「教科書採択に係る要望、意見書について」、教育指導課長、提案説明、報告をお願いいたします。

小川課長　それでは、4ページをお開きください。議案第17号「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」、令和2年度使用の座間市立小学校教科用図書の採択について議決を求めるものでございます。提案理由といたしまして、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条第1項及び第5項の規定、並びに第14条の規定により提案するものでございます。

なお、補足といたしまして、平成32年度義務教育諸学校で使用する教科用図書に係る「神奈川県教育委員会の採択方針」、令和2年度使用小学校教科用図書の「座間採択地区教科用図書採択方針」、「小学校座間市教科用図書採択検討委員会方針」に基づき、5月21日、7月10日に座間市教科用図書採択検討委員会を開催し、調査員より調査結果の説明を受け、座間市の児童にとって最適な教科書採択に関する検討を慎重かつ公正に進めてまいりました。教育委員の皆さまには、採択検討委員会等の報告および質疑を既に行っていることを申し添えます。

また、併せて、報告第18号「教科書採択に係る要望、意見書」について、教科書採択に係る要望及び意見が別紙のとおり提出されているので、報告するものでございます。別紙をご覧ください。教科書採択に係る要望、意見書等の一覧でございます。これらの資料は事前にお配りしております。すでに、皆さまが目を通してくださっておりますので、漏れがないかを確認していただければ結構です。

以上でございます。

教育長　ありがとうございました。ただ今、補足説明にありましたように、私どもは、この教科書採択をするに当たり、事務局から提出された「文部科学省教科書編修趣意書」、「神奈川県教育委員会の調査研究の結果」、「4市合同の教科用図書調査員の報告」、「学校希望調査の集計」、「採択検討委員会の報告」、「教科書採択に係る要望、意見書」について事前に目を通し、報告に係る質疑等の学習会を、時間をかけてしっかりと行ってまいりました。このことを審議に入る前に前置きしておきたいと思えます。

なお、採択方法については、会議規則第16条第2項により、昨年同様、今回も挙手によって実施したいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長　では、挙手によって得票数の多い教科用図書を採択候補とすることにします。

また、同票の場合には私、教育長の判断で、採択候補を決めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 最終的に、13種目の採択候補が決まりましたら、一括で採決を行います。  
それでは審議に入りたいと思います。先ほどお伝えしましたように、採択検討委員会等の報告及び質疑については既に終えておりますので、ここでは、最終の意見ということで、何かありましたら述べていただきたいと思います。  
では始めに、国語について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

小井田委員 どの教科書も非常によくできていて、甲乙つけがたいと感じています。その中で、私が長年授業をしてきて、光村の物語文は、児童の感性を育てる意味で手ごたえを感じています。  
また、東書の「言葉の力」は国語力育成のために理解定着を図りたい内容が、単元ごとに効果的に提示されているのが良いと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

天野委員 光村の1年生上の48ページに「わけを話そう」というものがあり、自ら考えることにつながり、良いと思いました。また、読み物教材のとびらのページに書いてあるリード文に工夫があり、子どもを引き付け、最後に話し合いを持たせているところも良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

馬場委員 光村は、全般に「学習を広げよう」が、終わりについています。特に6年生では丁寧に説明されていますので、小学校でやったことをどうやって中学校につなげていくかが理解しやすく、素晴らしいと感じました。  
また、3年生下の41ページ、「すがたをかえる大豆」では、わかりやすく文章を書くということが、うまく説明されています。私は、国語の例文作品は文学鑑賞だけでは困ると思っています。いかにわかりやすく、説得力のある実用の文章を書けるかが、将来、社会生活における活動にかかわって、生きていくことにつながります。そのための準備として国語があると考えています。前回の採択の際にもそのことは考えていましたが、今回見てみると光村が非常に良くなっていると感じました。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員 私も光村が良いと思います。6年の258ページ、「言葉の交流」は世界中の言語の関係やアイヌ語のことが書いてあり、日本の文化を学ぶ上ではとても良いと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にご意見はございませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、小学校用教科書目録の4者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。結果については私、教育長と馬場教育長職務代理者と2人で確認していきたいと思います。

では、小学校用教科書目録発行者順に従いまして、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。0票。学校図書。0票。教育出版。0票。光村図書出版。4票。

挙手の結果、光村図書出版が4票ということで、国語は「光村図書出版」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、国語は、「光村図書出版」を採択候補といたします。次に、書写について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

天野委員 鉛筆の持ち方については、どの教科書でも触れているのですが、光村だけが鉛筆を置いて持つところから書いてありました。

また、毛筆で筆の持ち方や姿勢等について説明するページでは、絵や写真と説明がリンクしていてとてもわかりやすいと感じました。

さらに、「たいせつ」にはポイントが書かれていて、私は光村が良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員 東書と光村は、6年生で文字の歴史について取り上げ、甲骨文字から漢字や仮名がどのように生まれてきたかが書かれていて、とても良いと思いました。

また、東書は大きくてお手本にするのに非常に見やすいと思います。

教育長            ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

馬場委員        皆さんご存知のように、最近、子どもたちの多くが鉛筆をきちんと持てません。これはできるだけ繰り返し指導することが大切だと思っています。その点で光村は、1年、2年で本文の中で説明しているだけでなく、4年から6年の裏表紙でも鉛筆あるいは筆の持ち方を写真で説明しており、繰り返し指導する点が良いと思います。私としては、光村が良いと思います。

教育長            ありがとうございました。他にご意見はございませんか。

教育長            他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

教育長            それでは、小学校用教科書目録の5者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。1票。学校図書。0票。教育出版。0票。光村図書出版。3票。

挙手の結果、東京書籍が1票、光村図書出版が3票ということで、書写は「光村図書出版」を候補としてよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

教育長            ご異議なしと認め、書写は、「光村図書出版」を採択候補といたします。

次に、社会について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

天野委員        私は文字の大きさや文章の言い回しに注目して見てみたのですが、教出が一番フォントが読みやすく、小学生にわかりやすい言い回しをしていると思いました。また、神奈川県を多く取り上げており、子どもたちにとって一番親しみがあって良いと思いました。

教育長            ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

馬場委員 教科書を見ると、アイヌや沖縄の方々の記述に関しては、3者ともしっかりと書かれていると思いました。太平洋戦争のときの大変な悲劇を慰霊する「ひめゆりの塔」のことなども、日文と教出ではかなり具体的に詳しく書かれていて、現代に生きるものとしてきちんと理解していくべきであろうと思います。

なお、構成としては、日文では、子ども同士が議論するようになっていて非常に良いと感じました。以上を勘案すると、私は日文が良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員 領土問題や防災の記述についても見てみましたが、3者ともきちんと書かれていました。私は、教出が一番見やすいと感じていますし、戦後のことや最近のことについても、「世界の中の日本」ということでよく書かれていると思いました。

また、学習問題、予想、まとめの流れの中で、教出のまとめ方が一番良いと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員 私は教出の「この時間の問い」と「次につなげよう」が良いと思います。毎時間、「問い」から始まり、まとめ、次につなげるという流れが特に6年生の歴史学習ではストーリー性を感じさせ、子どもの歴史への興味関心をつなげていくのではないのでしょうか。

また、同じく教出の「社会科の見方・考え方」が巻頭部分に出ていますが、学年スタート時にこのように教科の学び方を理解させることも大切です。以上の点でも教出が良いと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、小学校用教科書目録の3者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。0票。教育出版。3票。日本文教



出版。1票。

挙手の結果、教育出版が3票、日本文教出版が1票ということで、社会は「教育出版」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、社会は、「教育出版」を採択候補といたします。  
次に、地図について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

鈴木委員 私は2者を比較して、帝国の方が見やすく、色使いも良いと感じました。  
また、帝国の方が防災の情報が多く載っているように感じます。東書の方が防災について、起こった場所のすぐ近くに書いてあるので見やすい点もあるのですが、地震を引き起こすプレートを示すのには帝国の方がわかりやすいと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

馬場委員 最近の地図というのは面白く、普通の地図情報以外にも、いろいろな地域において歴史、文化、自然に関係してどのようなことが問題になっているかをイラストでうまく示してくれています。そういう点では帝国も東書も示しているのですが、例えばヨーロッパについては、ほとんど全部の国に対してそういったことが示されている等、ヨーロッパやアメリカ合衆国の取りあげ方に関しては、帝国の方が充実しており、子ども達が親しんで、勉強がうまく進められるのではないかと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員 私も見やすさといった点では帝国が良いと思いますが、東書の75ページから78ページに載っている歴史と地図は、歴史を学習するときに大いに役に立つのではないかと思います。

また、64ページにはヨーロッパの地図がありますが、それぞれの国の料理のことが写真で示してあり、国際理解としても活用できて良いと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長        それでは、小学校用教科書目録の2者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。0票。帝国書院。4票。

挙手の結果、帝国書院が4票ということで、地図は「帝国書院」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長        ご異議なしと認め、地図は、「帝国書院」を採択候補といたします。

次に、算数について行います。どなたか、ご意見ををお願いします。

鈴木委員     私は東書の1年生のA4サイズの教科書が、スタートとしては親しみやすく良いと思います。

また、東書の単元末では「いかしてみよう」、「たしかめよう」、「つないでいこう算数の目」の3つで構成されていて、数学的な見方や考え方に焦点化した問題が出されているのも良いと思います。

教育長        ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員   私は、東書と学図とどちらも良いと感じています。

東書の「今日の深い学び」は、主体的に問題をとらえ、対話をとおして課題解決が図られるような活動例が設定されていることから、主体的・対話的で深い学びにつながると思います。また、問題は1ページ目に、解き方は次のページからとなっているところも、考えさせる学びとして使いやすいと感じます。

学図は紙面がとてもすっきりしていて、学びの経過がよくわかるようになっています。また、めあてからまとめが色分けされていて、わかりやすく表示されています。

ただ、多くの教科書で気になった点があります。子どもに考えさせるべき場面で、かなり答えに近い内容が、吹き出しなどを使って記載されている点です。子ども達はこの教科書を使ううちに、次第に考えずに答えを探すようになると思います。あくまでもヒントとなるような表現をしていただきたいと思います。東書はこの点が考慮されていたのではないかと感じました。

教育長            ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

馬場委員        どの教科書もデータをグラフにしたような統計的な課題を取り上げていますが、東書では、「算数で読みとこう」で、4年生の給食の食べ残し、5年生の日本を訪れる外国人の人数、6年生の陸上競技の記録など、子どもたちの生活に密着した、あるいは興味を持てるような課題に取り組みさせているところが良いと感じました。

教育長            ありがとうございました。他にご意見ありませんか。

教育長            他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長            それでは、小学校用教科書目録の6者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。4票。全員です。

挙手の結果、東京書籍が4票ということで、算数は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長            ご異議なしと認め、算数は、「東京書籍」を採択候補といたします。  
次に、理科について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

小井田委員     算数と似た感想ですが、私はできるだけ考える場面を作っている東書が良いと思います。東書は、子どもの考えを中心に、実験等の計画から予想し、結果から何が考えられるかまで、「考える学習」を大事にしています。

また、「ふり返ろう」では、「自分なりのことばで」などがあり、必ず学びを子どもに返しています。「学びを生かして深めよう」の内容とも併せて、深い学び方を目指す工夫を感じました。

さらに、巻末資料が充実していて、ノートの書き方などもきちんと書いてあることなどからも、東書が良いと思います。

逆に、教出は黒板のページや吹き出しなどで、書きすぎているところがあるように感じます。具体的には、6年の18ページなどがその例です。ここまで書いてあると、

子どもたちは考えるより先にここに目がいってしまうのではないかと心配します。

教育長       ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員     私は、子どもに興味を持ってもらうには見やすさが大切であると思いますが、東書か教出か甲乙つけがたいと感じています。

東書は、サイズが大きく、写真や絵、図が見やすくなっていると思います。また、最初に「計画しよう！試してみよう！」（5年）などとして、テーマと学ぶこと、学び方が書いてあって、入りやすいと感じます。

教出は6年50ページの拡大図は興味を持つことにつながると思います。

また、巻頭と巻末に宇宙飛行士の向井さん、若田さんやノーベル賞をとられた田中さんといったその道のエキスパートの話、先人の話を載せているのも良いと思います。

災害についても、両者ともわかりやすく書いてあり、どちらかが良いと思います。

教育長       ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

馬場委員     全般的に東京書籍が良いと思います。鈴木委員のご指摘のように、教出の6年50ページの大きな人体図は、前から見た図と後ろから見た図がセットとなって、子どもたちが自分の内臓の位置を知るために良い企画だと思います。ただし、絵がやや粗雑に感じられます。例えば心臓は、左心室から大動脈が出るはずなのですが右心室から出ているように見えます。そこから下行大動脈になるのですが、そうでなく上に行つて鎖骨下動脈になってしまいそうな感じにも見えます。後ろから見た図では、大動脈が少し左に寄りすぎていますし、食道も上部は前後につぶれているはずなのに、そうなっていません。せっかくの良い企画なのに図が残念なので、解剖学の専門家にしっかりと検討してもらって作れば、素晴らしいものになると思います。

教育長       ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

天野委員     私は東書と教出が良いと思います。様々な器具の使い方は、教出は途中で、東書は巻末に、どちらも詳しく載っています。

また、5年の「人の誕生」の絵は東書の方が細かい説明があり良いと思いましたが、台風や災害については教出の方が良いと思いました。教出は78、79ページに、台風が来ているときの雲の写真、アメダスの情報、日本各地の天気、同じ日にちの同じ時間の状態をリンクして把握できるように掲載されていますので、素晴らしいと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、小学校用教科書目録の6者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。4票。全員です。

挙手の結果、東京書籍が4票ということで、理科は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、理科は、「東京書籍」を採択候補といたします。次に、生活について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

馬場委員 私は、多様性を意識するという点で教出が良いと思いました。全ての教科書において、イラストとしては様々な国や地域の子どもが描かれていますが、写真では必ずしもそうでないことが多いです。ところが教出では、主役となる子ども達の写真に、ほぼ全て、アフリカ系、ヨーロッパ系、アジア系など様々な地域の子どもが入っています。つまり企画段階から、国際性、多様性を十分に意識していたことがわかる点で、教出が良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員 どの教科書もよくできていると感じましたが、1年生の子どもの目線で教科書を見ていた時に、感じたことがあります。例えば、教出の振り返りのページの「何をかんじたかな」の問いは、小学校低学年の子どもの語彙力、表現力では、少し答えるのが難しいのではないかと感じました。「なつをかんじよう」という投げかけの言葉も、低学年の子どもには難しいと思います。

一方で、東書の巻末の「かつどうべんりてちょう」は使い勝手が良く、「ポケットずかん」も持ち出して屋外に観察に行けるのは便利だと思います。

また、学図の「まなびかたずかん」は、活動の基本となることが書かれていて、とても良いと思いました。学図は、言葉が子どもに近く、子どもの対話で話が進んでいくところも良いと思いました。

教育長            ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

天野委員        私は東書が良いと思います。まず写真が明るくてきれいであること。上の44ページのイラストも、とても繊細に描かれています。右側の「やくそく」は言葉がないことで、子どもたちが考えたり、気付いたりすることがたくさんあると思います。

また、上の28ページから36ページの花の写真も、あえてページがずらしてあることで、種からの成長過程を4枚並べて見ることができる工夫なども大変良いと思います。

教育長            ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員        私も東書が良いと思います。写真やイラストの使い方が非常に上手で、国際色の点でも外国人の写真があり、イラストと写真のつながりもあって良いと思いました。また、「ポケットずかん」が良いと思いました。

教育長            ありがとうございました。他にご意見ありませんか。

教育長            他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長            それでは、小学校用教科書目録の8者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。2票。大日本図書。0票。学校図書。1票。教育出版。1票。

挙手の結果、東京書籍が2票、学校図書が1票、教育出版が1票ということで、生活は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長           ご異議なしと認め、生活は、「東京書籍」を採択候補といたします。  
それでは、10時40分まで休憩とさせていただきます。

(休憩)

教育長           それでは、再開いたします。  
音楽について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

小井田委員   主体的・対話的で深い学び、学習の見通し、伝統文化、外国の歌に親しませる工夫の点など、両者ともとてもよくできていると思いました。

教芸は1年生30ページの「みつけたおとでよびかけあいましょう」など、生活の音に注目した活動は、とてもおもしろい工夫で良いと思いました。

教出は鍵盤ハーモニカやリコーダーの入門期に大事にしたい「タンギング」がわかりやすく丁寧に扱われています。

また、4年生以上で、巻頭のその道の第一人者のことばが素晴らしいと思います。

さらに、全学年で載せられている全校合唱曲は集会等で重宝されるのではないのでしょうか。

教育長           ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員       私も両者とも甲乙つけがたいと思います。

ただ、座間市の教育大綱でもグローバル化が言われている中で、教出は全学年に英語の歌が入っています。また教出の方が、世界の音楽と日本の音楽のバランスが良いと感じました。

教育長           ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

天野委員       私は教出が良いと思います。

鍵盤ハーモニカの学習の際、教出はドレミが5線の位置に書いてあります。これは、いずれ学習する楽譜に自然に慣れていくという意味でも良いと思います。

また、巻末の音符・符号のまとめのページでは、教出が見やすく覚えやすいと感じました。作詞者、作曲者等に振り仮名が振ってある所も良いと思います。

教育長           ありがとうございました。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、小学校用教科書目録の2者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

教育出版が良いと思う方、挙手をお願いします。4票。全員です。

挙手の結果、教育出版が4票ということで、音楽は「教育出版」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、音楽は、「教育出版」を採択候補といたします。

次に、図画工作について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

鈴木委員 2者ともよくできていると思いますが、製本の点から2者の本を比べて、開いたときに開きやすく、したがって写真等が両ページ跨って割り付けされてある場合、中央部分がしっかり見えるのが開隆堂であると思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

馬場委員 日文では、「言葉から想像を広げて」絵を描くことを扱っていますが、子どもの自由な発想が引き出せることからとても良いと思いました。

また、開隆堂の1・2年上の「みて さわって かんじて」というような「さわる」活動は、どちらの教科書にも載っていましたが、その中で、開隆堂は人工物にさわっているのに対し、日文は自然のものにさわっていました。感性を広げるという観点では、日文が良いと感じました。

表紙の絵にどちらも言葉が書かれていましたが、開隆堂のタイトルは子どものことばで書かれていて、子どもが親しみやすいと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員 両者を見て、既成概念にとらわれず、独自の発想や感性で作った作品はどれも価値があるといったことが伝わってきて、素晴らしいと思いました。



また、主体的・対話的で深い学びを目指しての造形遊び、共同制作も子ども達が楽しんで取り組めるのではないのでしょうか。巻末の道具の使い方も、わかりやすく丁寧に描かれています。

造形遊びは日文の方が多く取り上げているように思いました。

教育長            ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

天野委員        日文は作品例が多く、その分イメージしやすいと感じました。逆に開隆堂は、用具については見やすいと感じました。

                  日文の「教科書美術館」は良い作品に触れることができ、良いと思います。

教育長            ありがとうございました。他にご意見ありませんか。

教育長            他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

                  (異議なしの声あり)

教育長            それでは、小学校用教科書目録の2者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

                  開隆堂出版が良いと思う方、挙手をお願いします。1票。日本文教出版。3票。

                  挙手の結果、開隆堂出版が1票、日本文教出版が3票ということで、図画工作は「日本文教出版」を候補としてよろしいでしょうか。

                  (異議なしの声あり)

教育長            ご異議なしと認め、図画工作は、「日本文教出版」を採択候補といたします。

                  次に、家庭について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

天野委員        私は開隆堂が良いと思います。情報量は東書の方が多いたと思いますが、手ぬいやミシンの技術面をみると、開隆堂の方が見やすく、わかりやすいと感じました。

                  また、子どもたちが、自分でやってみたいと思うのは、開隆堂の方ではないでしょうか。開隆堂は、巻末に英語表記も出ていて、その点でも開隆堂は良いと思いました。

教育長            ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員　私も開隆堂が良いと思います。写真がはっきりしていて、とてもきれいですし、配置も良いと感じました。

また、天野委員からも出ましたが、英語が載っている点は私も良いと思いました。

教育長　ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

馬場委員　「持続可能な社会」という言葉が、今は非常に重要と考えられています。資源を大切にすることだと思いますが、それに関して比べてみますと、開隆堂では章を1つ設けて、見開きで書いてあります。それ自体は良いのですが、子ども達がどうやって自分の生活の中で具体的に考え、行動するか、それに結びついていないように感じます。

一方で東書では、実際の生活や行動として、より具体的に学べるようになっているので、私は東書が良いと思います。

教育長　ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

小井田委員　私も東書が良いと思います。まず、巻頭の「家庭科は生活をよりよく変えていく教科」というメッセージは、学ぶ意義を理解するためにもとてもインパクトがあると思います。

また、「生活を変えるチャンス」というページがあり、この言葉やここでの内容が子どもの意欲関心をさらに刺激するのではないのでしょうか。

さらに、馬場委員からも出ました「持続可能な社会」について、両者を比較してみました。開隆堂の方は、6年の最後、卒業間際に出てきます。東書の方は5年生の早い段階で単元として出てきます。ここでの学びがそのあとの単元でも活用され、実践されることで定着することが期待できそうです。

教育長　ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

馬場委員　先ほど言い忘れたことがあります。

東書では、「プロに聞く」として、その道の専門家の話が載っています。これは非常に良いと思います。もちろん開隆堂にもありますが、東書の方が数も多く、非常に有効で活きていると感じました。

教育長　ありがとうございました。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、小学校用教科書目録の2者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。2票。開隆堂出版。2票。

挙手の結果、東京書籍が2票、開隆堂出版が2票ということで、同票となりました。当初私からお話ししましたように、同票の場合には私、教育長の判断で採択候補を決めさせていただくということで、私の判断で、家庭は「東京書籍」を候補といたします。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、家庭は、「東京書籍」を採択候補といたします。次に、保健について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

鈴木委員 どの教科書もよくできていて、甲乙つけがたいという印象ですが、視覚的にわかりやすいという点で、私は文教社が良いと思います。5・6年の最初の心の発達から、とてもわかりやすく記載がされていると思いました。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

馬場委員 学研では5・6年の16、17ページで、悩みへの対処として、いじめを重点的に取り上げています。これは非常に大事なことなので、とても良いと思います。

それから、座間市の教育委員会では、大きく固い食物を前歯で食いちぎり、奥歯でよく噛むことが必要であると考えています。そのようなことから、座間市では小学校の給食で「アジの干物素揚げ給食」を実施しています。しかし、そのような観点は、どの教科書でも触れておらず、大日本の5・6年の45ページで、虫歯や歯ぐきの病気を予防するために、かみごたえのあるものを食べる、との記載が少しあるだけで、残念です。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員 学研の「もっと知りたい調べたい」は、子ども達の知的好奇心を満たす内容が多いと感じました。例えば、28ページの「自然災害や緊急事態に備えて」は、事細かに書かれています。それから52ページの「喫煙・飲酒をしないために」では、「すすめられたときの断り方」まで書かれています。こういった内容は、日常の生活に活かすことができ、とても良いと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

天野委員 学研の3・4年の8ページに、健康な生活の内容で、二人の一日のスケジュールが載っています。学研では時間配分が一目でわかるようになっています。二人の生活を比較する中で違いを考え、10ページの「はってん」で、その理由を納得できるところがうまく作られていると感じました。

また、思春期の体の変化に関して、他の教科書でも個人差があるという書き方はしていますが、学研の29ページ「いろいろな人がいる」のように、変化した時期や感じ方が具体的に示されていると、子どもたちも安心できるのではないかと思います。そのような点からも、学研が良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、小学校用教科書目録の5者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。0票。大日本図書。0票。文教社。1票。光文書院。0票。学研教育みらい。3票。

挙手の結果、文教社が1票、学研教育みらいが3票ということで、保健は「学研教育みらい」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、保健は、「学研教育みらい」を採択候補といたします。

次に、英語について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

天野委員 私は開隆堂が良いと感じています。まず、「CAN DO マップ」では、自分で今どんなことを学んでいるかがわかりやすく、それが主体的に学ぶことにつながると考えるからです。

また、「文字に慣れよう」は、中学校に向けて書くことも少しずつ慣らしていこうという点でも良いと思います。

「単語リスト」は、教科書の後ろに辞書のように載っていて、わからないときに調べられて良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員 中学校の先生に「小学校での英語教育に期待することは何か。」と尋ねたところ、「英語を嫌いにさせないでほしい。」という答えでした。その観点で見た場合に、英語と子どもを近づけさせる工夫があるという点で、東書が良いと思います。

目次を見るとわかるのですが、つくりとして大きな単元があり、その中に関係する複数の小さなユニットでの構成となっています。例えば5年生のテーマは「紹介する」です。自分の紹介、地域の紹介、日本の紹介と年間三つの大単元でのシンプルで実にわかりやすい構成になっています。ユニットでの学習で、紹介するために必要との目的意識を持つことで、子どもたちの「学ぼう」とする意欲は高められていきそうです。

また、ピクチャーディクショナリーは語彙を増やすのに非常に使い勝手がよく、小学校を卒業しても使えるのではないかと考えます。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

馬場委員 英語をきちんと自分のものにする、というのは非常に難しいことですので、できるだけ日本語を介さずに、実際の物や場面と英語を結びつけるということがとても大事なのだと思います。会話の場面でも、日本語で文章を考えてから英訳していたら、とても会話になりませんので、自然に英語が出てくると良いと思います。そういった意味で、東書が良いと思います。具体的には、先ほど小井田委員がおっしゃったピクチャーディクショナリーをはじめ、日本語が載っていない方が、物や場面と英語が結びつくチャンスが増えるということで、東書が良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員 私も東書が良いと思います。まず、世界の国々を紹介していく。世界のいろいろな習慣を知って、そして世界と日本との関係を知って、という流れが良いと思います。教育大綱の中にグローバル化が記載されましたが、やはり英語をとおして楽しく世界のことを知るということが大切だと考えます。

もう一点、歌で「Country Road」や「We Are the World」などが載っているところも良いと感じました。歌を知ると、その国の生活なども知ることができると思います。

あとは三省堂についても、英語をとおして世界中のことを知るという面で、良いと思いました。

教育長 ありがとうございます。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは、小学校用教科書目録の7者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。3票。開隆堂出版。1票。

挙手の結果、東京書籍が3票、開隆堂出版が1票ということで、英語は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、英語は、「東京書籍」を採択候補といたします。

最後に道徳について行います。どなたか、ご意見をお願いします。

天野委員 私は光文が良いと思います。2年前に採択をして、先生方も少しずつ慣れていきながら活用しているところだと思います。この教科書を使って道徳の授業研究を行っている学校も多いと思いますし、今回の採択では継続が良いと考えます。

また、光文は「いじめを生まない」や「命を大切にする」といったテーマが多く、座間市の「豊かな心を育むひまわりプラン」と重なるところが多いと思います。個人的には、情報モラルを扱った資料も多くあることから、光文が良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

小井田委員 私は、ねらいが最初から明示されていないという点、一つの価値だけをできるだけ子どもに押しつけないよう工夫してある点で、学研が良いと思います。2年前にも同じ意見を言わせていただきましたが、子どもの多様性、主体性を引き出すためには誘導的に一つの価値を感じてしまう記載は良くないと考えます。特に話の終末は、あえて結論をふせて、自然に子どもたちの考えに移行できるよう工夫してもらいたいと思います。特に道德の授業では子どもの本音や心の葛藤を引き出すことも大切にして欲しいと考えています。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

鈴木委員 私は東書が良いと思います。6年の44ページに「白旗の少女」という話がありますが、このような平和を考える教材が多いところに感銘を受けています。

また、150ページでは、「東京大空襲の中で」という話をとおして、かけがえのない命をねらいに学習をします。平和や命の大切さといったことは、「豊かな心を育むひまわりプラン」に通じるところがあると思います。

教育長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

馬場委員 私は光村が良いと思います。4年の23ページに「絵はがきと切手」という話がありますが、正解がなく、どうすべきか非常に迷う話となっています。こういった、簡単に答えが出ないで葛藤するような話が、光村にはとても多いと思います。この、悩み葛藤する、ということが重要で、それによって子どもは成長すると思います。

また、27ページの「言わなきや」という話の最後の一文に、「わたしは、だんだん自分のことが、いやになってきた。」とありますが、こういったまとめ方をしている作品が多く、うまいなと思います。葛藤があり、なおかつ文学的にも洗練されている文章が多い光村が良いと思います。

教育長 ありがとうございます。他にご意見ありませんか。

教育長 他にご意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長        それでは、小学校用教科書目録の8者の中から、候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。1票。学校図書。0票。教育出版。0票。光村図書出版。1票。日本文教出版。0票。光文書院。1票。学研教育みらい。1票。

挙手の結果、東京書籍が1票、光村図書出版が1票、光文書院が1票、学研教育みらいが1票ということで、同票となりましたので、私の判断で、道徳は「光文書院」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長        ご異議なしと認め、道徳は、「光文書院」を採択候補といたします。

教育長        それでは、13種目の候補が出そろいましたので、最終の採決をとりたいと思います。13種目の候補について確認をいたします。国語は光村図書出版、書写は光村図書出版、社会は教育出版、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は東京書籍、生活は東京書籍、音楽は教育出版、図画工作は日本文教出版、家庭は東京書籍、保健は学研教育みらい、英語は東京書籍、道徳は光文書院です。この教科書で良いと思う方の挙手をお願いします。

教育長        4票。全員です。

それでは、令和2年度使用小学校教科用図書は、国語は光村図書出版、書写は光村図書出版、社会は教育出版、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は東京書籍、生活は東京書籍、音楽は教育出版、図画工作は日本文教出版、家庭は東京書籍、保健は学研教育みらい、英語は東京書籍、道徳は光文書院に決まりました。

令和2年度使用小学校教科用図書の採択は以上となりますが、全体をとおして何かあらためてご意見はございますか。

教育長        ご意見等はないようですので、私から今回の小学校の教科書採択を振り返って一言述べさせていただきます。

来春から小学校で使われる教科書は13種目で、今回は5年生と6年生で英語の教科書が初めて採択の対象になりました。新しい学習指導要領は「主体的・対話的で深い学び」を目指し、知識を得るかどうかなだけでなく、学ぶプロセスも重視しています。このため、各教科で自ら問いを立てて対話しながら考える要素が盛り込まれた記述が増えたように思います。教科書によっては、板書例や指導の配分案などを書き込む教



科書もありましたし、授業のヒントを豊富に盛り込んだものもあり、児童にも先生方にとっても「丁寧な優しい教科書」に仕上がっているように感じました。

しかし、お膳立てが過ぎると子どもは自分で考えなくなります。教師の仕事は、知識を与えるだけではなく、子どもたちが自分で考えて、自力で解決していく力をつけることです。教科書を見て覚えるだけでは、新学習指導要領で言われる「主体的・対話的で深い学び」の実現はできません。

私たちは、今回の採択では、様々な教科書の良さを見ながら、この教科書を使う先生方が、児童にいかにか考える力をつけさせるかということを考えました。その点をご理解いただくとともに、是非、教科書「を」教えるのではなく、教科書「で」教えるのに役立てていただければと思います。

最後にもう1点、「レイマンコントロール」という言葉があります。教育行政や学校運営が、教員など「教育の専門家」だけの判断に偏ることがないように、レイマンである教育委員を通じて、広く社会の常識や住民のニーズを施策に反映させるためです。教育の専門家である方々のご意見を十二分に受け止めつつ、レイマンである教育委員が判断し、採択したことをご理解いただきたいと思います。

それでは、議案第17号及び報告第18号については終了いたします。

続きまして、議案第18号「令和2年度使用中学校教科用図書の採択について」、教育指導課長、提案説明をお願いいたします。

小川課長 議案第18号「令和2年度使用中学校教科用図書の採択について」、令和2年度使用の座間市立中学校教科用図書を別紙のとおり採択することについて議決を求めるものでございます。提案理由といたしまして、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条第1項及び第5項、並びに第14条の規定により提案するものでございます。6ページをご覧ください。中学校教科用図書については、本来ならば、今年度、教科書について新たに採択を行うこととなりますが、平成30年度検定において新たな申請がなかったため、平成26年度検定合格図書等の中から、採択を行うこととなります。4年間の使用実績を踏まえ、平成27年度と、道徳は平成30年度に採択し、現在使用している教科書と同一のものを採択するという提案でございます。

なお、令和3年度から中学校で新学習指導要領が全面実施となりますので、教科書の内容も学習指導要領に合わせて新しくなります。そのため、次年度の令和2年度、中学校教科書の全教科において採択を行うこととなります。以上です。

教育長 それでは、中学校教科用図書の採択に移ります。中学校教科用図書につきましては、平成27年度と、道徳は平成30年度に採択し、現在使用している教科書と同一のもの

のを採択するという提案でございますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 意義なしと認め、中学校教科用図書については、平成27年度と、道徳は平成30年度に採択し現在使用している教科書と同一のものを採択することといたします。

では、議案第18号「令和2年度使用中学校教科用図書の採択について」は提案どおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは提案どおり議案第18号について承認することに決まりました。

続いて、議案第19号「令和2年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について」、教育指導課長、提案説明をお願いいたします。

小川課長 それでは7ページをお開きください。議案第19号「令和2年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について」、令和2年度使用の特別支援学級用教科用図書を別添のとおり採択することについて議決を求めるものでございます。提案理由ですが、令和2年度に使用する特別支援学級用教科用図書「学校教育法附則第9条による一般図書及び一般図書以外の文部科学省著作教科書(盲・聾・養護学校用)」の採択を求めため提案するものでございます。特別支援学級用の教科書ですが、毎年変わるものですので、毎年採択について議決を求めさせていただいています。

別添についてですが、特別支援学級では、教科書以外の図書を使用することが認められています。別添1として「特別支援学校用(小・中学部)教科書目録(平成32年度使用)」、別添2及び3として「平成32年度用一般図書一覧」、以上の資料が文部科学省から出されており、特別支援学級で教科書以外の図書を使う場合は、これらの教科書や図書の中から使用することになります。

そこで、令和2年度特別支援学級の教科用図書として、「特別支援学校用(小・中学部)教科書目録(平成32年度使用)」及び「平成32年度用一般図書一覧」に掲載されている図書を一括して採択することを提案いたします。

教育長 それでは、特別支援学級用教科用図書の採択に移ります。

特別支援学級用教科用図書につきましては、目録にある図書を一括採択という提案でございますが、一括採択でよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 意義なしと認め、特別支援学級用教科用図書については、目録の図書を一括採択といたします。

では、議案第19号「令和2年度使用特別支援学級用の教科用図書の採択について」は提案どおり承認することよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

教育長 それでは提案どおり議案第19号について承認することに決まりました。  
本日の議案事項は以上です。本日の協議事項はございません。報告事項に移ります。  
お諮りいたします。報告第19号「県費負担教職員の任用について」は人事に関する案件ですので、非公開にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

教育長 ご異議なしと認め、当案件は非公開といたします。恐れ入りますが、傍聴人の方は暫時退席をお願いします。

(傍聴人 退席)

(報告第19号「県費負担教職員の任用について」は非公開)

教育長 傍聴人の入室を許可します。

(傍聴人 入室)

教育長 報告事項は以上です。  
その他、委員会の中で取り上げたいことはございますか。

教育長 よろしいでしょうか。  
では、次回の定例会は令和元年8月14日(水)午前9時30分から教育委員会室で開催します。

以上で7月定例教育委員会を閉じさせていただきます。

(午前11時45分閉会)